

# 医療対応の必要な方のご入居について

下記一覧表はあくまで目安となります。

協力医療機関等との連携体制、ご家族様の通院対応の可否等によっても状況が変化します。まずはご相談いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

医療対応項目	可否	ご入居受け入れに関する基本的な考え方
透析	○	通院体制の構築により対応可能です。
在宅酸素	○	協力医療機関との連携体制構築により対応可能です。
膀胱留置カテーテル (バルーン)	○	カテーテルの詰まりや抜去等の緊急時対応について、協力医療機関との連携体制構築により対応可能です。
人工肛門	○	協力医療機関との連携体制構築により対応可能です。
ペースメーカー	○	造設後の状態が安定している方は対応可能です。
褥瘡	○	協力医療機関との連携体制構築により対応可能です。
インスリン	○	血糖測定、自己施注が可能な方は原則対応可能です。 単位数固定、スライディングスケール対応共に、協力医療機関との連携体制構築により対応可能です。
喀痰吸引	○	日中、夜間も含めて常時吸引が必要な方でも、協力医療機関との連携体制構築により対応可能です。
胃ろう	○	協力医療機関との連携体制構築により対応可能です。
鼻腔経管	×	医療要件が高い為、基本にご入居は困難となります。
中心静脈栄養療法	×	医療要件が高い為、基本にご入居は困難となります。
気管切開	×	医療要件が高い為、基本にご入居は困難となります。
特定疾患	△	疾患、状態により検討が必要であり、ご相談下さい。

感染症項目	可否	ご入居受け入れに関する基本的な考え方
肝炎	○	まずは診断書をご提供いただき、協力医療機関との相談、協議の上、ご入居を検討させていただきます。
MRSA	○	
梅毒	○	
結核	△	
疥癬	△	
HIV	△	